



めざせ！！南十字星

★夢と勇気と元気をもって★ 2020・1・13

学校だより

新春号

ヨハネスブルグ日本人学校

新年明けましておめでとうございます！！ 今年もどうぞよろしくお願い致します。

ヨハネスブルグ日本人学校の保護者の皆様、関係各位の皆様、新年明けましておめでとうございます。旧年中は物心両面からご支援頂きありがとうございました。年頭に当たり、心より感謝申し上げます。本年もどうぞよろしく
お願い申し上げます。



【サンシティからの初日の出】

さて、オリンピックイヤーの2020年がスタートしました。昨年のラグビーW杯に続きまして、今年も世界各地から多くの選手が日本に集まり、熱い戦いが繰り広げられ、様々な感動を私たちに与えてくれるものと思われまふ。日本選手団の大活躍を期待したいと思います。

J S Jにおきましても1月6日(月)に第3学期を開始しました。子供たちも元気に登校し順調にスタートです。スクールバスから降り、元気に挨拶する子供たちから1ヶ月ぶりに学校に戻り、新たな気持ちで頑張るぞという気持ちが汲み取れます。早速、教室の1ヶ月のホコリを取る清掃活動を行い、3学期の始業式を行いました。式では、福元咲雪さんのピアノ伴奏で校歌を歌い、小川陽向(G3)さんと根本真優(G7)さんが3学期の抱負を日本語と英語で発表しました。立派な発表でした。

また、この週は体験入学ウィークでありましたので、体験入学者6名の紹介式を行いました。式後は各学級で夏休みの報告をしたり、3学期の目標を立てたりして、学年のまとめと新学年に向けての意識を高め合いました。



3学期の主な行事は、「野外活動・ふれあい活動」「プールを楽しむ会」「EC発表会」そして「卒業式」です。充実した3学期にするため全職員が一致団結して子供達の指導に当たります。保護者の皆様におかれましても、どうぞご支援・ご協力をお願い致します。



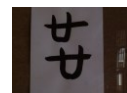
<校長室からひとりとこと> ~新たな一歩、どんな一歩にしますか~

パラグアイ勤務から数えて10年ぶりの真夏の正月を迎えた。何回か真夏の正月を迎えたが、夏に迎える正月は何か違和感がある。「正月はやっぱり冬がいいなあ」と思うのは在ヨハネスの多くの方の思いではないだろうか。

正月と言えば、私の元旦はこの30数年間、夜明け前に海岸に行き、日向灘の水平線から昇る初日の出を拝むことから始まる。しかし、今年はここヨハネス在住なので水平線から昇る太陽は見られない。そこで、2日遅れだったがサンシティの湖越しに昇る初日の出を見るためそこに宿をとった。午前6時16分、稜線から姿を現した初日に両手を合わせ、家族の安寧とヨハネスブルグ日本人学校関係者の健康安全を祈願した。いい年になるよう切に願う。

さて、上欄で始業式の様子を記したが、その始業式の校長講話で次のような話をした。新年にあたり、いい一歩を踏み出してほしいという願いを込めて、下記のような象形文字①を示した。「これはある漢字の元になった象形文字です。ある足跡の形だそうす。この文字が象形文字②のようになります。」ここらあたりで、子供たちは、足に関係する文字ではないかと思当付けができ、「走」とか「歩」と答える。正解は「歩」である。これに年の初めの「一」をつけると「一歩」となる。「皆さんは今年の一歩をどんな一歩にしますか。」と言って話を終えた。

今年の子年、十二支の最初の年でもあり、令和最初の干支でもある。ねずみはコツコツと働き大きな富を蓄えるという言い伝えもある。J S Jの子供たちも一生懸命頑張り、たくさん学びを身に付けて大きく成長してほしいと願うばかりである。



象形文字①



象形文字②



完成文字